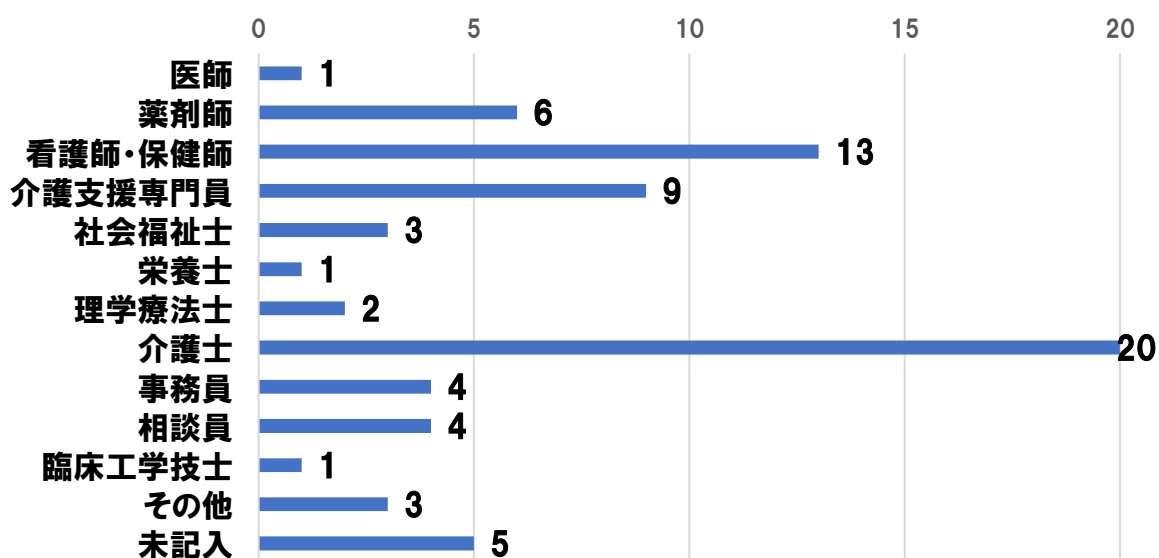


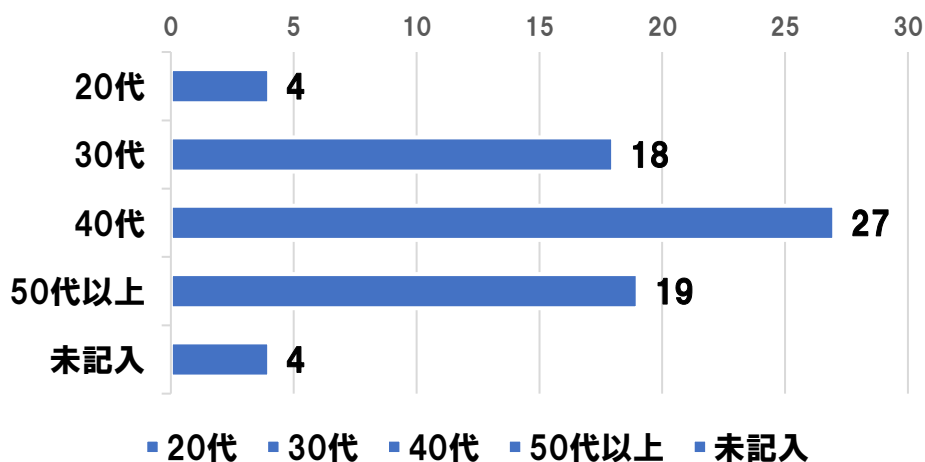
令和元年度 医療と介護の連携推進事業 多職種連携強化研修会 アンケート集計結果

参加者 89 名、グループワーク参加者 82 名、アンケート回答者 72 名

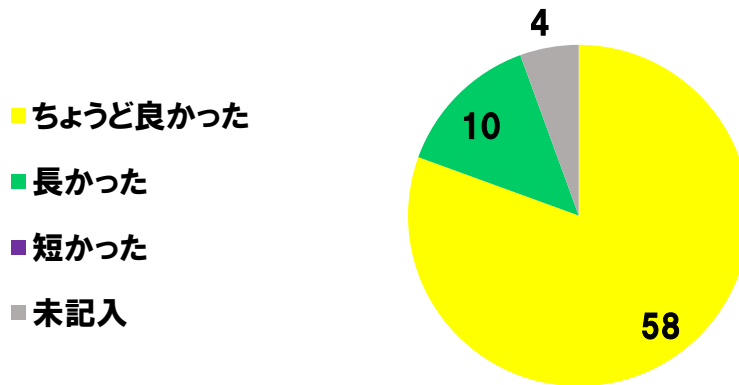
参加された方の職種



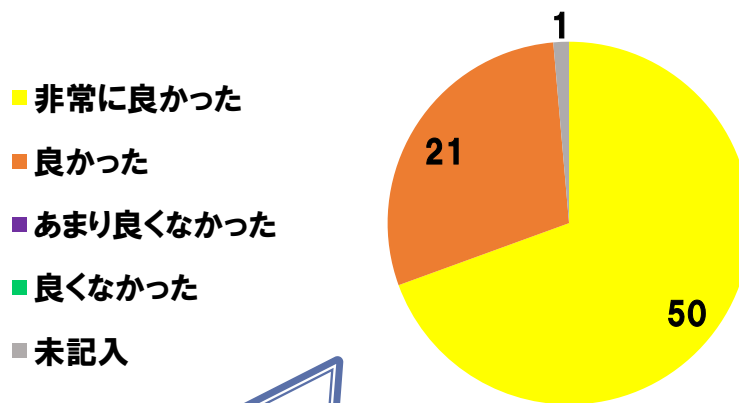
年齢



【1】研修会の時間(長さ)はどのように感じられましたか。



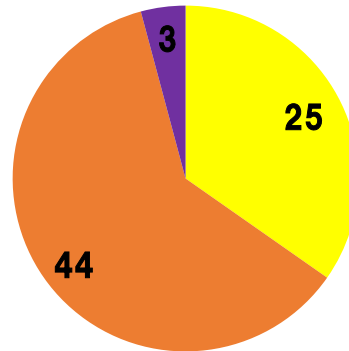
【2】講演の内容はいかがでしたか。



- ◆ 現地での実体験が非常にわかりやすく、勉強になりました。
- ◆ 非常時の医療の実際についてよく分かった。
- ◆ 災害医療の現状等、全然知らないことばかりだったので、すごく勉強になりました。
- ◆ 指揮命令系統についてすごく理解でき、災害だけでなく仕事現場でも同じように感じた。
- ◆ 具体的な事例があり分かりやすかった。
- ◆ 避難所運営の大切さがわかった。
- ◆ 在宅で生活をしている方や避難所に行けない方への支援等難しい現状であることも知れてよかったです。
- ◆ 感染について特にわかりやすかった。
- ◆ このような研修をもっと多くしてほしい。また機会があれば参加したい。

【3】グループワークの内容はいかがでしたか。

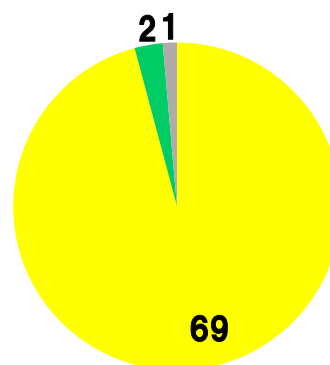
- 非常に良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった
- 未記入



- ◆各職種の方の意見がとても参考になりました。
- ◆今までに検討する機会がなかった内容だったので難しかったです。
- ◆最後の CSCA に当てはめるのが難しかったです。
- ◆実際考えるだけでは想像がつかなくて難しかったが、多職種と連携していかなければならないことを理解しました。
- ◆自分では分からなからず、知りたかったことが意見として出てきて知ることが出来ました。
- ◆設定が難しかったが、事前に普段から考える良い機会になりました。

【4】研修会に参加して災害時の対応・連携について意識は変わりましたか。

- 変わった
- 変わらなかった
- 未記入



- ◆災害前の準備や起こった時の対応を決めておく必要があると感じました。
- ◆イメージがしやすくなりました。
- ◆自分に何が出来るのかを考えなければダメだと思いました。
- ◆BHELP 受講を希望します。
- ◆災害について学んでも、時間が経つと意識が薄れるので、繰返し研修が必要だと思いました。
- ◆連携の大切さが理解でき、このような機会を多く作ってほしいです。

【5】研修会で気づいたことや今後の課題・疑問等なんでもご記入ください。

「課題・他」

- ◆多職種での連携、顔の見えるつながりが大事だと思いました。
- ◆予定時間は厳守していただきたいです。
- ◆防災訓練は以前からしていたが、先生の現場での話を聞くと訓練内容に甘さがあると思いました。
- ◆各職場によって災害の対応が違いました。
- ◆自身の職場でも CSCA について考える時間を設けたいと思います。
- ◆指揮命令システムの体制づくりが課題になると思いました。

「疑問」

- ◆災害時、伝言ダイヤルは企業では有効でしょうか。

【6】今後の研修会で学びたいテーマについてご記入ください。

- ◆災害時、個人病院での対応など
- ◆8050問題
- ◆今回のようなテーマで続けてほしい
- ◆ACP
- ◆多職種連携を具体的にもっと深めたい
- ◆ICT、青洲リンク
- ◆病院や施設の横のつながりが出来るような取り組みを兼ねた研修
- ◆災害時、三日間の過ごし方
- ◆引き続き、災害やトリアージの事を学んでいきたい
- ◆机上だけでなく、炊き出し訓練や実習形式をするのはどうか

一般社団法人那賀医師会 在宅医療サポートセンター

〒649-6414

和歌山県紀の川市打田 1282 番地 公立那賀病院感染症病棟 2F

TEL 0736-78-1011 FAX 0736-78-1021

E-mail naga-support@athena.ocn.ne.jp